



有限会社エコ・ライス新潟
新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100
TEL:0258-66-0070 FAX:0258-66-0447

クイーン倶楽部だより 12月号



長岡市理事の笠原氏と支援協定書を交換。災害時、長岡市の避難所にはんぶん米等の災害備蓄食を搬入します。



地元長岡市と災害支援協定締結!

非常食を災害発生時に提供します

5年前の中越大地震で多くの仲間の生産者が被災しました。

この体験から「災害時の食の安全」を目指し、はんぶん米などの非常食の開発を始めました。その結果、NPO東京腎臓病協議会との災害支援協定や、東京都へのはんぶん米の備蓄など着実に「共助」の輪を広げていきましたが、今回地元長岡市から今までの活動を評価され、災害支援協定を締結することになりました。

今後も新潟県の地域資源「米」をベースに、地震や水害などの自然災害の教訓を活かした商品開発・活動を行っていききたいと思います。



Dr中村のお米の話



中村 信也(なかむらのぶや)

医学博士。東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、「食と医療」の医療薬膳研究の第一人者として活躍中。

第36回

パッテンライ！
(八田がやって来た！)

これは、今度日本で上映されるアニメ映画の題です。制作は日本の虫プロダクションです。台湾で最も敬愛されている八田(はた)一(いち)技師(ぎし)の物語です。彼は日本の台湾経営が始まった頃赴任し、1930(昭和5)年烏山頭ダムを築き、嘉南平野一帯を豊かな水田地帯に変えた人です。

完成までに紆余曲折があり、土地を提供してほしいと農家を一軒一軒説得していききましたが、誰もが土地の没収を嫌がり、来る日も来る日も農家を訪れました。そのうち農民は「八田(はた)が来た(来た)！」と叫び、門を閉ざすようになりました。それでも説得し続け、立派にダムを完成させました。

私はこの目でダムを見たくて、単身で出かけてみました。場所は烏山頭水庫風景(保護区)の中にあります。台北から高鐵(新幹線)で台南駅にゆき(片道1145円でした)、そこからタクシーで半時間くらいかけ(メーターで1000円でした)、たどり着きました。

ダムは土手があり、人工的に見えず自然の湖のようでした。付近に親水公園もあります。ダムの入り口近くの高台に八田(はた)一(いち)の墓、銅像と記念館がありました。座って作業着で考え事をしているような姿でしたので、仕事中はいつもこういうポーズをとっていたのでしょうか。

帰りのタクシーから見ると、豊かな水田が広がっています。水は豊富らしく、浮き草のようなものが栽培されていました。タクシーの運転手が浮き草を取り上げると、実がなっていました。「麦の実」らしいでした。道端に麦の実焼き屋がところどころ商売をしていました。

帰りの新幹線で「高鑑弁当」を買いました。日式猪排丼(120円)と日式緑茶(20円)を買い、水田の広がる風景を眺めつつ、台湾の米を堪能しました。